

徳川家康所用服飾類の研究

東京芸術大学大学院 美術研究科 美術専攻

芸術学研究領域 工芸史研究分野

福島 雅子

目次

序論	徳川家康の服飾遺品	1
第Ⅰ部	辻が花染の服飾類	5
第一章	徳川家康所用の辻が花染服飾類	9
	はじめに	
	辻が花染の研究史	
	徳川家康所用の辻が花染服飾類	
	辻が花染の技法展開と位置付け	
	おわりに	
第二章	東京国立博物館所蔵「白紫段練緯地葵紋散模様陣羽織」	20
	はじめに	
	伝来の検討	
	形態に関する諸問題	
	染織技法と意匠に関する考察	
	おわりに	

第三章	東京国立博物館所蔵「白練緯地松皮菱竹模様小袖」	35
-----	-------------------------	----

はじめに

伝来について

技法と地質

形態の分析

意匠構成の特質

おわりに

第Ⅱ部	小紋染服飾類の展開	57
-----	-----------	----

第四章	紀州東照宮所蔵「紺地宝尽小紋小袖」	60
-----	-------------------	----

はじめに

伝来について

小紋染と文様表現

染色工程

形態上の特徴

おわりに

第五章	徳川美術館所蔵の小紋染服飾類について	69
-----	--------------------	----

はじめに

徳川美術館所蔵小紋染服飾類の概要

小紋染の技法と型紙について

袴と小紋染について

おわりに

第六章 江戸東京博物館所蔵「萌葱地葵紋付小紋染羽織」

はじめに

江戸東京博物館蔵「萌葱地葵紋付小紋染羽織」の概要

小紋染の技法と型紙について

羽織の形態と仕立て

おわりに

第Ⅲ部 近世武家服飾の形成

第七章 徳川家康所用小袖類における五つ紋の形成

はじめに

徳川美術館所蔵「白地葵紋紫腰替り辻が花染小袖」

徳川美術館所蔵「紺地葵紋散槍梅文辻が花染小袖」

近世初頭における葵紋配置の流れ―紋散らしから五つ紋へ

徳川家康所用葵紋付小袖類における葵紋の比較

おわりに

第八章	雁金屋関係資料にみる徳川家康および徳川将軍家の服飾	102
	はじめに	
	小西家旧蔵「尾形光琳関係資料」における雁金屋文書	
	雁金屋文書にみる徳川家康と徳川将軍家の服飾類	
	伝徳川家康所用服飾類との比較	
	おわりに	
第九章	徳川家康所用服飾類における服飾様式	113
	はじめに	
	徳川家康と江戸幕府の服制	
	近世武家服飾の形成	
	染織技法の特色	
	葵紋の意義	
	おわりに	
結論		126

本博士論文は、全体が出版刊行されており、また、掲載されている写真等について権利者から許諾が得られないため、インターネット等における公表が認められていない。

したがって、次に、本論文が出版刊行された著作の書誌事項を記載する。

- 著者名 福島雅子
- 題名 徳川家康の服飾
- 出版社 中央公論美術出版
- 出版年 二〇一八年二月
- ISBN 978-4-8055-0793-3